

インタビューシート

取材団体	町田ハンディキャブ友の会
------	--------------



質問1 活動の内容を教えてください。	移動が困難な方（障がい者・高齢者など）の移動を支援するボランティア団体で、主な活動内容は専用車両による移送サービスの提供と、町田市バリアフリーマップの制作。福祉・バリアフリーに力を入れて地域貢献活動を行っているそうです。
質問2 この仕事をやっていてやりがいを感じる瞬間を教えてください。	走行を終えたときに「ありがとう」と言ってもらったり、お昼ごはんやお菓子をいただいたりしたときにとてもやりがいを感じるそうです。
質問3 なぜこの職業に就こうと思ったんですか？	昔働いていた会社の上司がハンディキャブ友の会を設立した協力者で、その上司に「来ないか？」と誘われたからだそうです。

<インタビューした感想>

ハンディキャブ友の会さんは、身体が不自由な方のことを第一に考えて話し合いをしていて、とても優しい団体さんだなと思いました。訪問中に僕達も車椅子を体験したり、そのまま車に乗ってドライブしたりなど貴重な体験をさせていただきました。精密な機械が車の内部に入っているため少し高く、かなり揺れました。その揺れで車椅子が前に行ったり、横に行ったりして少し怖い体験をさせていただきました。しかし普通の乗用車などだったらもっと揺れたり動いたりするはずなのに、そこまで激しくは動きませんでした。それはお客様のことを大切に思って、安全運転で走行してくれているということがわかり、とても感心しました。

インタビューシート

取材団体

町田子ども劇場さん



質問1 活動の内容を 教えてください。	幅広い年代の人と遊ぶところ（0歳から90歳まで）で、会員約270人です。子どもが中心となっていて、0から計画を作り上げる団体です。自分たちがやりたいことをやり、安心して失敗できます。子ども劇場に入っている方たちは、個性豊かで一人ひとりがいろいろな考えを持っているんだと実感しました。ぜひ入ってみてください！！
質問2 この仕事のやりがいを教えてください。	子どもたちが劇や、ミュージカルなど、その他にも色々な活動を通して目を輝かせて喜ぶ姿を見ること。また長く見守ることができる環境で子どもの成長をみることでやりがいを感じるそうです。
質問3 なぜこの職業についていたんですか？	みんなのために一生懸命になることに興味があった。最初は、すぐやめようとしたけどやっていくうちに自分が変わっている（成長している）なーと思いこの仕事を続けたそうです。あとは先輩からのお説明です。

< インタビューした感想 >

- ・もともと子ども劇場さんは知らなかったのですが活動内容や活動目標を聞き、学校では体験できないようなことや、広い年代の人達と関わったり遊んだり、話すことができる交流の場としても遊び場にもなっている気がしてスゴイと感心しました。
- ・子ども劇場さんのことは、ほとんど知らない状態でインタビューしたんですがとても楽しそうな団体で、いろんな年齢の人達と関わって大人が関わっていなくとも子どもが中心となっているからすごいなと思いました。なかなかそういう場所はないから興味があったら子ども劇場さんに訪れてください！！

インタビューシート

取材団体

町田市男女平等推進センター



質問1 活動の内容を教えてください。	女性も男性も社会で意見を出してやりたいことを選べるような地域にするための活動をしている。また、講演会をしたり、女性の産休が終わったあとの再就職の面接対策などを行っている。講演会は、『LGBTQ+』について話したりして、性の多様性への社会的な理解の促進につなげている。
質問2 日々活動していく中で大切にしていることは何ですか。	まずは相談に来る人の話をすべて聞いて悩みを軽くしてもらう。電話をかけてくる人は、DVを受けている人が多い。辛くて号泣している人や旦那がいない間に電話をかけてくる人がいるから、まずは落ち着いて話してもらうために優しく話しかけることも大切。
質問3 この活動でこれからしていきたいことは何ですか。	DVをたくさんの人人に理解してもらいたい。男女平等という言葉があるが、平等は人それぞれ思っていることが違うので、意見を押し付けないようにして、「男女平等」や、「DV」などという言葉がなくなるようにしたい。

<インタビューした感想>

担当の方のわかりやすい説明から、この町田市がどうなってほしいかなど詳しいお話を聞いてることができました。実際の写真を見せていただいたりして町田市男女平等推進センターについての理解を深めることができました。更に私の知らない SOGI などについてもまた知ることができました。そして未だに男女差別や DV がまだあるということを知りました。この話を聞いて改めて知ることも多くて、いろいろなことを知りました。

インタビューシート

取材団体

町田市消費生活センター



質問1 活動の内容を教えてください。	契約のトラブルを解決するために話を聞いたり、悪質な業者と対等に話ができるように色々教えたりする。また、相談者に勘違いがあった場合はそれを納得してもらえるように説明する。
質問2 相談者の方に接するときに気を付けていることは何ですか。	困っていて相談しに来ているから、寄り添って話を聞き、重ねて話をしないようにしている。また、物事を時系列順に話してもらうことも大切。
質問3 普段はどのような相談に来る人がいますか。	購入したけど、写真通りのものが届かないことがったり、購入の際に定期購入しないといけない契約を勝手に結ばれていたりする事がが多いから、その相談が多い。

<インタビューをした感想>

どんな仕事をしているかなど具体的に教えていただき、町田市消費生活センターに相談にくる方々はどんな人なのかやどんな年代の人が来るかなどすごく詳しく説明してくださいました。私達の質問をしっかり目を見て頷きならこたえてくださったり、わかりやすい考え方で色々教えていただき楽しく取材をすることができました。

インタビューシート

取材団体

町田国際交流センター



質問1 活動の内容を教えてください。	7つの部会で活動している。外国人の方の相談に乗ったり、日本語教室を行ったりしている。日本人と外国人の交流活動をしたり、お祭り、みかん狩り、折紙教室、料理会などの様々なイベントを開催している。
質問2 町田に住んでいる外国の方はどのようなことに困って相談に来ますか。	病院や市役所で言語が通じないから手続きができなかつたりして相談に来る人が多い。他にも日本語が喋れないと困ってしまう場面などで相談に乗っている。
質問3 この仕事で良いことは何ですか。	言語の壁は大きいけど、日本語を勉強してもらって、相手に喋りたいことが伝わったりするととても嬉しい。中国、アメリカ、イギリス、ベトナム、トルコなどの人がある。

<インタビューした感想>

海外の人との関わりの大切さを知ることができ、そして言語の違いや文化の違いを認め合いながら、イベントを開いたりしていてすごく興味が湧きました。言語や文化が違うことによって言いたいことが通じないことがあったりするとおっしゃっていて、しかしそれでも海外の方々と向き合って日本語を海外の方々に教えたりしているのはすごく熱心と感じました。明るく話してくださったりしていて取材していてすごく楽しかったです。

インタビューシート

取材団体

町田ボランティアセンター



質問1 活動の内容を教えてください。	地域のボランティアを必要としている団体とボランティアをしたい人を結び、地域福祉の推進をしている。また、手話教室もしている。手話教室の先生は聴覚障害がある人だから本格的な手話の授業が受けられる。
質問2 資格や経験がなくても参加できるボランティア活動はありますか。	ある。例えば、老人ホームでのボランティアなどがある。また、長期休み中は学生も参加できるボランティア活動がある。無理に参加するのではなく、自分が得意なことと関連しているボランティア活動に参加してみるのが良い。
質問3 この仕事で大変なことは何ですか。	ボランティアをして欲しい人の条件とボランティアをしたい人の条件を揃えて、お互いが納得するまでの過程がすごく大変。少しでも重なったら、お互いに歩み寄ってもらって、ボランティアをする。

<インタビューした感想>

緊張したけれど相手の方のお話したことについて、質問を返したりするうちに、この町田市ボランティアセンターがどんなことをしているのか、目標、みんなのためのイベントや活動について詳しくなることができました。最後には実際に手話の教室の様子を見させていただき、町田ボランティアセンターについて知ることができました。